

本時のねらい

- ・トマトの育ち方を来年の1年生に伝えよう。

本時における1人1台端末の活用方法とそのねらい

- ・Googleスライドの共同編集機能を使うことで、協働的に課題を進められる。
- ・写真やイラストを成果物に入れることで、視覚的に伝わりやすくなる。

活用したICT機器・デジタル教材・コンテンツ等

- ・大型提示装置
- ・スライド (Google)

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT活用のポイント・工夫
導入 (5分)	<ul style="list-style-type: none"> ・本時のねらい 「トマトの育ち方を来年の1年生に伝えよう」 <p style="text-align: right;">【写真1】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの記録写真を見ながら、本時の課題をつかむ。
展開 (35分)	<ul style="list-style-type: none"> ・どんなことに気を付けて、スライドを制作するか確認し、スライドに使える素材(写真)を選ぶ。 ・一人で作るか、二人で1つのスライドを作るか、どちらがいいか問いかける。 ・スライド制作での留意点を確認して、作業を始める。 <p style="text-align: right;">【写真2】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・写真データの日付から、トマトの成長時期を確認する。 ・主体性を大切にしながら、協働作業で1つのスライドを製作することの利点に気付かせる。 ・伝える相手が1年生ということから、写真や文字の大きさ、ひらがなを使うなどを確認する。
まとめ (5分)	<ul style="list-style-type: none"> ・スライドを見返し、次の時間にどんなことをする必要があるのかふりかえる。 <p style="text-align: right;">【写真3】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・どうしたら、より相手にわかりやすく伝わるかを意識させながら確認する。

1人1台端末を活用した活動の様子



【写真1】 これまでの写真をふり返る



【写真2】 協働でスライドを作る



【写真3】 できたスライドを見ながらふりかえる

児童生徒の反応や変容

課題解決にあたって子どもたち同士で知っているタブレットスキルを紹介しあいながら学習を進めていた。スライド作りでは、伝える対象を意識させたことで「どうしたら1年生にわかってもらえるか」をよく考えながら、活動することができた。文字の大きさやひらがな表記にすることだけにとどまらず、改行する場所や文節に半角スペースを入れるなど、協働作業中に気付いたことをシェアしながら作業を進めることができていた。本時のねらいである「育ち方」に注目し、「何月にトマトがどうなっていたか」なども、話しながら取り組んでいた。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

伝える相手を「1年生」というように、明確にすることで、子どもたちはどのようにすれば相手に伝わるかということ意識して取り組むことができた。また、協働作業をする中で、思ったことや考えたことを伝え合う機会が増え、思いを互いに伝え合うことを苦手に感じている本学級の児童にとって、言語能力を育成する観点からも良い練習機会にすることができた。